

### 市長の市政運営に関する考え方 福祉・教育・平和施策の充実／商店街振興 日本共産党磐田市議団 質問者 高梨俊弘 議員

#### 市政運営

**質問** 新年度予算編成の基本方針と重点施策は。

**答弁** 「健全財政の構築」「市民生活重視の予算」「行政財政改革の推進」を柱とし、南部救急医療機関の整備や磐田駅北口広場の整備、地震防災対策の拡充など重点的に取り組む。

**質問** 重点施策の地震防災対策で何を入れているのか。

**答弁** 23年度に限り、家具の転倒防止に対する補助を積極的に打って出たい。

#### 福祉・教育・平和施策

**質問** 生活保護申請者の生活費貸付制度の充実、住宅確保支援策は。

**答弁** 貸付制度は、さらに迅速に活用されるよう社会福祉協議会と連携を図っていく。

住宅支援策は、生活保護受給者が入居可能な民間物件の情報収集を行う。また、市から不動産会社に住宅費を振り込む代理納付制度を活用して、家主が賃貸物件を提供しやす

い環境づくり等を進める。

**質問** 子供の医療費助成制度で、通院も中学校卒業まで拡大すべきと考えるが見解は。

**答弁** 入院は中学校卒業までの拡大は考えていない。

**質問** 市立幼稚園の園児募集で希望園に入園できないと聞くが、現状と対策は。

**答弁** 抽選により入園児を決

定した園が1園あり、自宅近隣で募集人数に達していない園を紹介した。対策は、通園区のあり方を見直すなど、効果的な解決方法を模索したい。

#### 戦災

**質問** 戦災記録や資料を収集し、平和事業に生かす考えは。

**答弁** 図書館での被爆写真パネル展では、パ

ネルとは別



被爆写真パネル展

に原爆に関連した展示品を陳列した。資料等の収集は考えていないが、市民から借りたり、市所蔵の戦災資料をパネル展にあわせて展示したい。

#### 商店街振興

**質問** 商店街路灯の電気代や改修費用を補助する考えは。

**答弁** 商店街で設置した街路灯の電気代の補助は行わない方針である。改修費は、補助金の対象となる。撤去費は、来年度から補助対象としたい。

### 行政関連課題／安心・安全なまちづくり

公明党磐田 質問者 小野泰弘 議員

#### 行政課題

**質問** 電算基幹業務システムを更新で、インターネットを介したサービスを受けられるクラウドコンピューティング導入の検討は。

**答弁** 国の進める自治体クラウドは、福祉業務の一部が含まれていない。今回のシステム再構築の次の段階では、効果や課題も整理され、有力な

移行先候補になると推測する。

#### 安心・安全

**質問** 空き家管理等の対策は。

**答弁** 市民相談の都度、現場を確認し、所有者に対応をお願いしている。消防署では、巡回時に指導を行っている。

**質問** 買い物弱者支援として宅配サービス等の情報提供は。

**答弁** 地域包括支援センターでは、在宅支援サービスの情

#### 住みやすいまち

**質問** 高齢者の住みやすいの対策を市としてどう考えているか。

**答弁** 既存施設のRC住宅を大規模改修する際、共有部分のバリアフリー化等の検討を進める。また、エレベーター付住宅や1階部分への入転居等に配慮するとともに、将来的には借上市営住宅の入居募集を行う際にも、これらを配慮した方法を検討したい。

**質問** デマンドタクシーの拡大と自主運行バスの見直しは。

**答弁** 23年度に実施予定のバス代替方策調査研究業務委託の中で、他の代替方策を含め対象地区等を検討したい。自主運行バス事業の見直しは、車両の更新を一つの期限として検討を進めるが、利便性の向上等を図るため、必要に応じて見直しを実施したい。



自主運行バス

# 一般質問(要旨)

## 魅力産業創造都市いわた・商人編

争論 中村 薫 議員(二問一答)

### 中心市街地の活性化

**質問** 中心市街地活性化における地域資源との連携推進は、

**答弁** 軽トラ市や青空市などの開催を定着させ、中心市街地とさまざまな資源との結びつきを一層活発にしたい。

### 各地区商店街

**質問** 各地区商店街の課題は、

**答弁** 商店街ごとに温度差があり課題がある。活性化は簡単ではなく、行政ができる範囲に限られる。まず、商店街の人たちに行動していただくことが第一歩と考える。

### 磐田ブランド

**質問** 磐田ブランドの検証は、

**答弁** 時間の経過とともに事業が肥大し、ブランドの価値観の低下やコンセプトがあいまいとなり制度が維持できなくなった。現在、農産物や工業製品などの分野も視野に入れた制度づくりができないか

検証している。

### プレミアム商品券

**質問** プレミアム商品券事業の成果は、

**答弁** 磐田地区は売り上げ8千万円・回収9894万円、福田地区は売り上げ1750万円・回収1374万円、竜洋地区は売り上げ1500万円・回収1120万円



### プレミアム商品券

向で検討を進めている。ただし、市の補助金支出は今年度と同額とし、プレミアム増額分の財源は、民間事業者等の御協力により協働事業として実施できるように調整している。

0万円、豊田地区は売り上げ3千万円・回収3416万円、豊岡地区は売り上げ750万円・回収647万円である。業態別回収割合は、大型店64%・一般小売店36%であった。

**質問** 商品券事業の今後は、

**答弁** 23年度は更に多くの市民に元気を与える事業とするため、事業規模を拡大する方向で検討を進めている。

**質問** この個人情報規制緩和の措置をどう活用するのか。

**答弁** 既に「市個人情報保護条例の利用及び提供の制限の例外規定」に基づき、地域包括支援センターや民生委員等に必要な情報提供をしている。

**質問** 一日中、ほとんど会話のない高齢者に対し、会話サービスマスを実施する考えは、

**答弁** 社会福祉協議会では、傾聴ボランティアなどを実施し、話し相手支援をしている。市でも地域での見守り支援活動を精一杯促進していきたい。

**質問** 未来を担う子供たちが地域や社会の現状を知り、社会参加の意識を高めるため、小・中学生合同参加による「子ども議会」を開催する考えは、

**答弁** 合併後3年間、中学生を対象に、郷土を愛する心を

**質問** 個人情報保護法が高齢者見守り活動構築時に問題となるが、規制緩和措置と思われる厚生労働省通知の内容は、

**答弁** 地域包括支援センター等の関係者が、市の保有する

**質問** 著しく進む核家族化等の中、高齢者は不安を抱え生活しているが、状況の把握は、

**答弁** 地域包括支援センターでは民生委員などと連携し、支援が必要かどうか、高齢者

**質問** 高齢者福祉推進施策

**小・中学生合同参加「子ども議会」開催**

五和会 村田光司 議員(二問一答)

実態把握事業を実施している。

**質問** 個人情報保護法が高齢者見守り活動構築時に問題となるが、規制緩和措置と思われる厚生労働省通知の内容は、

**答弁** 地域包括支援センター等の関係者が、市の保有する

**質問** 未来を担う子供たちが地域や社会の現状を知り、社会参加の意識を高めるため、小・中学生合同参加による「子ども議会」を開催する考えは、

**答弁** 合併後3年間、中学生を対象に、郷土を愛する心を

**質問** 個人情報保護法が高齢者見守り活動構築時に問題となるが、規制緩和措置と思われる厚生労働省通知の内容は、

**答弁** 地域包括支援センター等の関係者が、市の保有する

**質問** 未来を担う子供たちが地域や社会の現状を知り、社会参加の意識を高めるため、小・中学生合同参加による「子ども議会」を開催する考えは、

**答弁** 合併後3年間、中学生を対象に、郷土を愛する心を



養うことを目的に開催した。改めて検討していきたい。

**質問** 考え方・見方が異なる小・中学生が、互いの考えを知る場として合同開催に深い意味があるが、どう考えるか。

**答弁** 全国で13自治体が小・中学生合同で開催している。合同開催の場合の内容もあわせて検討していく。

## 市議会の日程や会議録などがご覧いただけます

詳しくは磐田市のホームページから、このバナーをクリックしてください。



クリック!!

### 健康 安心安全

日本共産党磐田市議員 稲垣あや子 議員（二問一答）

#### 健康

**質問** 予防ワクチン接種の公費助成の方針を伺う。

**答弁** 子宮頸がん予防ワクチンは中学1年生から高校1年生まで、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは0歳から4歳までを対象に、23年度実施を検討している。

**質問** 特定健診、人間ドックの実態と健康指導の効果は。

**答弁** 21年度の特定健診の受診率は45%、国保人間ドックの受診者は1909人だった。保健指導実施率は、21年度は52.7%で、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少、血糖値の低下や体重の減少等の改善が見られた。

**質問** 乳がん検診、子宮頸がん検診の公費助成を偶数年齢から全年齢に拡大する考えは。

**答弁** 検診は国の指針に基づいて実施しており、今後も2年に1回の助成をしていく。

#### 安心安全

**質問** 木造住宅耐震補強工事の市単独補助復活の考えは。

**答弁** 市単独補助の復活は、現時点では考えていない。

**質問** 自主運行バスの検証とデマンド型タクシーの実績は。

**答弁** 21年度の自主運行バス利用者数は6万1376人で、前年度比12.5%減だった。利用者数に対し運行委託料が大きいことが課題である。デマンド型タクシーは、11月30日現在の運行便数は10便、利用者数は13人である。利用拡大に向けたさらなる制度の周知を引き続き進めていきたい。



デマンド型タクシー（電タク）

**質問** 学校給食の民間業者委託における地元雇用の実態と今後の学校給食のあり方は。

**答弁** 合計77名のうち市内在住者は65名である。今後は、正規調理員の退職予定等を考慮しながら、調理洗浄業務の民間委託を順次進める。

### 統一地方選挙／安全・健康なまちづくり 健全・健康な教育環境

公明党磐田市議員 鈴木喜文 議員（総括質問）

#### 選挙

**質問** 投票入場券の裏側に期日前投票の宣誓書の様式を印刷する方法の導入を伺う。

**答弁** 入場券の変更が必要となり、新たな経費を要するので、現時点での導入は考えていない。宣誓書の大



期日前投票

きさについては検討する。

**質問** 障がい者の投票環境の改善策はあるのか。

**答弁** 投票所のバリアフリー化に向けた改善は必要と考えられる。また、代理投票、点字投票、郵便投票等の制度を周知するとともに、投票所に来やすい環境整備に配慮する。

#### 安全なまちづくり

**質問** 本市の地籍調査の進捗状況を伺う。

**答弁** 進捗率は79.08%であり、全国や県平均と比較してもかなり調査が進んでいるが、残り20%強あることから、着実に調査を進めていきたい。

#### 健康なまちづくり

**質問** かかりつけ医が専門医を紹介する、「富士モデル」の導入についての見解は。

**答弁** 富士モデルは、うつ病の早期発見・治療に有効と考える。磐田医師会の状況を把握しつつ、連携づくりに向けての協力をしていきたい。

きたい。

#### 健全・健康な教育環境

**質問** 地域と専門家による「がん授業」について、がんの予防と健康づくりを推進するため小学校での導入を。

**答弁** 学校からの要望があれば、医師等を招いてがん授業を行えるよう支援したい。

**質問** 軽度外傷性脳損傷について、治療・診断が難しい等の課題にどう取り組むのか。

**答弁** 正しい知識と理解を深めるために、養護教諭を対象とした研修会を実施して啓発を図り、教職員一人一人に周知できるように努めていきたい。

### 行財政改革特別委員会の活動報告

- (1)第3回(22年11月16日)
  - ・行財政改革大綱の骨子(案)について基本目標、改革の柱、取り組み項目、具体的な施策について協議しました。
- (2)第4回(22年11月30日)
  - ・行財政改革大綱の骨子(案)について4つの改革の柱ごとに、課題や問題点をもとに方向性を協議しました。

### 総務委員会視察

所管する事項を調査するため先進都市へ行政視察を行いました。(22年11月8日～10日)

- 視察事項
  - (1)政策評価・外部監査(福岡県久留米市)
  - (2)消防広域化(佐賀広域消防局)
  - (3)広聴・指定管理者制度(岡山県倉敷市)

**環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への参加問題  
国保税の軽減策を／公契約条例の制定を**  
日本共産党磐田市議会 根津康広 議員(一問一答)

**TPP**

**質問** TPPに参加しないことを国に求めるべきではないか。

**答弁** TPPへの参加は、農業のみならず産業界や環境など多方面に大きな影響を及ぼすものである。慎重に議論をした上で国が適正に判断していく問題であり、地方の首長がその是非を論ずるものではないと考える。

**国保税**

**質問** 患者負担の減免策は。

**答弁** 患者負担の減免に関する運用の新基準への対応は、県が22年度中に基準を定めるので、この基準により対応したい。

**質問** 国保の広域化の見解は。

**答弁** 国保事業は、医療費が増大していく中で保険料収入は伸び悩むという構造的な問題を抱え、厳しい財政運営を強いられている。この現状を改善するため、広域化によりスケールメリットを生かし、事業の効率化、保険料の平準

化及び財政の安定化などを図る意味から、広域化の必要性を認識している。

**質問** 18歳未満の国保税(均等割)の減免は。

**答弁** 減免は法令に基づいた賦課を行った上で、世帯として担税力があるかを判断基準として行うものと考え、年齢を限った減免制度の拡充は考えていない。

**公契約条例**

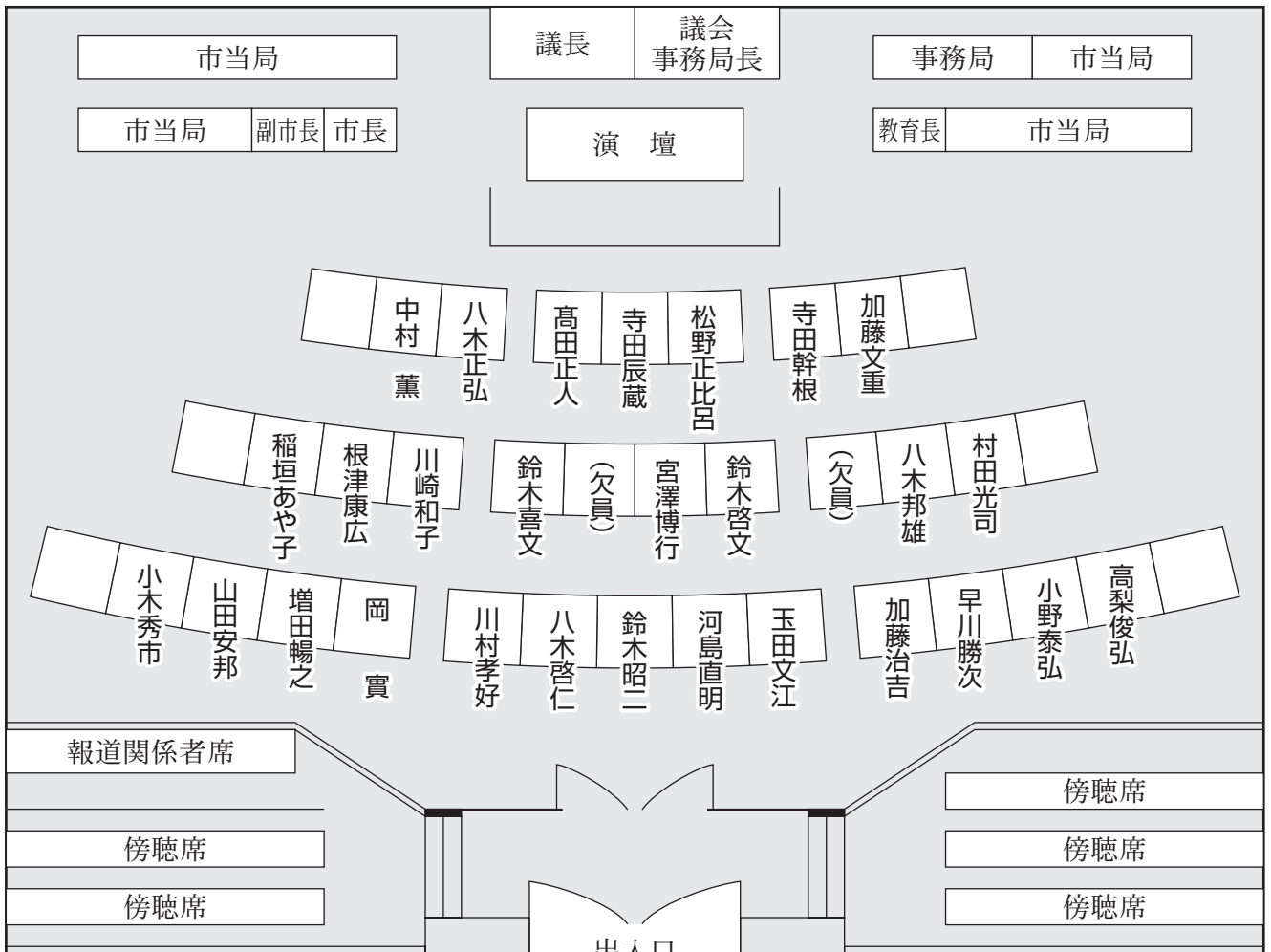
**質問** 官製ワーキングプアの問題解決のため、条例の制定に向け前向きな姿勢を。

**答弁** 国も法制化への具体的な動きはないが、参議院で請願が採択されたと聞く。条例を制定した千葉県野田市や、検討している市町の動向等にも留意し、県及び周辺市町と連携をとっていきたい。



**議席配置図**

(平成23年1月1日現在)



※野崎正蔵議員は、平成22年12月30日に議員を辞職しています。

## 審 議 結 果

### ■全会一致により可決された議案

- (1) 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- (2) 特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正
- (3) 教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正
- (4) 病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正
- (5) 22年度一般会計補正予算（第4号）
- (6) " 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (7) " 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- (8) " 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- (9) " 水道事業会計補正予算（第1号）
- (10) 部設置条例の一部改正
- (11) 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正
- (12) 繊維工業振興センター条例を廃止する条例の制定
- (13) 指定管理者の指定（栄町自転車等駐車場）
- (14) 指定管理者の指定（市営豊田循環バス）
- (15) 指定管理者の指定（市営豊岡循環バス）
- (16) 指定管理者の指定（リバーラ磐田市営駐車場）
- (17) 指定管理者の指定（磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場外5施設）

- (18) 指定管理者の指定（新造形創造館）
- (19) 指定管理者の指定（勤労者総合福祉センター）
- (20) 指定管理者の指定（豊岡地場産品ふれあい施設）
- (21) 指定管理者の指定（竜洋昆虫自然観察公園外2施設）
- (22) 財産の譲渡
- (23) 19年度磐田市新ごみ処理施設建設工事請負契約の変更
- (24) 指定管理者の指定（新造形創造館）に対する決議
- (25) 農業農村整備事業予算の確保を求める意見書

### ■賛成多数により可決された議案

- (1) 職員の給与に関する条例等の一部改正
  - ※ この議案は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。
  - 賛成25（五・誠・新・公・市・争）、反対3（共）


会派名の表記（人数）※22年12月17日現在

「五」五和会（11）、「誠」誠和会（6）、  
 「新」新磐田（6）「共」日本共産党磐田市議団（3）、  
 「公」公明党磐田（2）、「争」争論（1）  
 （注）議長は採決に加われません。

AEDの取り扱い講習を受けました

全議員が、22年10月15日、市内の公共施設などに設置が進められているAED（自動体外式除細動器）の取り扱い講習を受けました。

**AED**：心臓が血液を流す機能を失った状態の時、心臓のリズムを自動的に解析し、必要に応じ電気的なショックを与え、心臓を正常な状態に戻すための装置です。



### 本会議・委員会を傍聴してみませんか

傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。受付は、本会議または常任委員会等の当日、本庁舎5階の議会事務局で行います。住所・氏名を記入していただき、傍聴券を受け取ってから議場または委員会室にお入りください。

22年の傍聴者数	
2月定例会	107人
5月臨時会	1人
6月定例会	44人
9月定例会	122人
11月定例会	101人

## 2月定例会の予定

—2月17日～3月24日（36日間）—

日程は変更する場合もありますので、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

- 2月17日 本会議（先議議案の上程、説明・質疑）  
常任委員会
- 18日 常任委員会（審査予備日）
- 23日 本会議（先議議案の採決、予算議案等の上程・説明）
- 3月 1日 本会議（一般質問）
- 2日 本会議（一般質問）
- 3日 本会議（一般質問）
- 4日 本会議（一般質問予備日）
- 7日 本会議（各会計予算に対する代表質疑）
- 8日 本会議（一般議案に対する質疑）
- 9日 予算特別委員会
- 10日 予算特別委員会
- 11日 予算特別委員会（審査予備日）
- 14日 常任委員会
- 15日 常任委員会
- 16日 常任委員会（審査予備日）
- 24日 本会議（議案の採決）

※いずれも午前10時から